

「第十六改正日本薬局方 条文と注釈」 正 誤 表

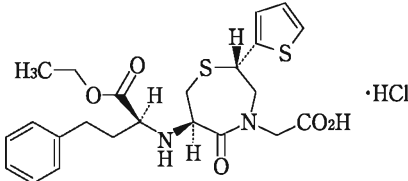
(平成 24 年 1 月 31 日) (1)

頁	行	正	誤
86	↑15	3. 収載の順序は、告示、目次、まえがきに続いて、 <u>通則</u> 、生薬総則、 <u>製剤総則</u> 、一般試験法、医薬品各条の順とし、	3. 収載の順序は、告示、目次、まえがきに続いて、生薬総則、一般試験法、医薬品各条の順とし、
86	↑12	4. 医薬品各条、参照紫外可視吸収スペクトル及び参照赤外吸収スペクトルの配列順序は、	4. <u>製剤総則</u> 、医薬品各条、参照紫外可視吸収スペクトル及び参照赤外吸収スペクトルの配列順序は、
92	1 (左段)	(27) <u>イミプラミン塩酸塩錠</u>	(27) イミプラミン塩酸塩
97	4 (左段)	(14) <u>イミプラミン塩酸塩錠</u>	(14) イミプラミン塩酸塩
97	↑4,3 (左段)	(41) <u>ジドロゲステロン錠</u> (42) <u>ジメンヒドリナート錠</u>	(41) <u>ジメンヒドリナート錠</u> (42) <u>ジドロゲステロン錠</u>
100	↑7 (左段)	(1) ヒトインスリン (<u>遺伝子組換え</u>)	(1) ヒトインスリン
26	13	(6) 本剤は、別に規定するもののほか、注射剤の採取容量試験法 <6.05> の「 <u>4. 輸液剤</u> 」に適合する。	(6) 本剤は、別に規定するもののほか、注射剤の採取容量試験法 <6.05> の (4) <u>輸液剤</u> に適合する。
52	8	検液及び比較液に硝酸銀試液 1 mL ずつを加えて混和し、 <u>光</u> を避け、5 分間放置した後、	検液及び比較液に硝酸銀試液 1 mL ずつを加えて混和し、 <u>直射日光</u> を避け、5 分間放置した後、
142	4	pH 標準液の調製には、蒸留した水又は導電率 $2 \mu\text{S}\cdot\text{cm}^{-1}$ (25℃) 以下及び	pH 標準液の調製には、蒸留した水又は導電率 $2 \mu\text{S}/\text{cm}$ (25℃) 以下及び
217	↑10	また、陰性対照試験は「 <u>4. 製品の試験</u> 」に記載の製品の試験においても実施する。	また、陰性対照試験は「 <u>1.4. 製品の試験</u> 」に記載の製品の試験においても実施する。
257	16	ブリリアントグリーンカンテン培	ブリリアントグリーンカンテン <u>液</u>

頁	行	正	誤
383	11	地, フェノール・ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ) <u>酸</u> ナトリウム試液	<u>体培地</u> , フェノール・ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ) ナトリウム試液
421	↑12	$(C_{20}H_{24}N_2O_2)_2 \cdot H_2SO_4 \cdot 2H_2O$	$(C_{20}H_{21}N_2O_2)_2 \cdot H_2SO_4 \cdot 2H_2O$
560	↑5 ~ ↑3	(下記を削除する) <u>純度試験</u> <u>紫外吸収物質</u> 本品につき、水を対照とし、 <u>紫外可視吸光度測定法</u> <2.24> により試験を行うとき、 <u>波長 210 nm, 220 nm, 230 nm 及び 240 nm における吸光度はそれぞれ 0.35 以下, 0.15 以下, 0.05 以下及び 0.03 以下である。</u>	
579	↑10	<u>ピロアンチモン酸カリウム</u> ヘキサヒドロキソアンチモン(V)酸カリウム を見よ。	<u>ピロアンチモン酸カリウム</u> ヘキサヒドロキソアンチモン(V)酸カリウム <u>四水和物</u> を見よ。
583	4	<u>純度試験</u> 溶状 本品 1 g を水 20 mL に溶かすとき、液は <u>澄明</u> である。	<u>純度試験</u> 溶状 本品 1 g を水 20 mL に溶かすとき、液は <u>透明</u> である。
603	↑3	<u>ヘキサヒドロキソアンチモン(V)酸カリウム</u> $K[Sb(OH)_6]$ 白色の粒又は <u>結晶性の粉末</u> である。 <u>確認試験</u> 本品 1 g に水 100 mL を加え、加温して溶かした液 20 mL に、 <u>塩化ナトリウム試液 0.2 mL を加えるとき、白い結晶性の沈殿を生じる。なお、沈殿生成を促すため、ガラス棒で試験管の内壁をこする。</u>	<u>ヘキサヒドロキソアンチモン(V)酸カリウム</u> <u>ヘキサヒドロキソアンチモン(V)酸カリウム四水和物</u> を見よ。

頁	行	正	誤
603	↑1	(下記を削除する) <u>ヘキサヒドロキソアンチモン(V) 酸カリウム四水和物</u> $K_2H_2Sb_2O_7 \cdot 4H_2O$ 白色の粒又は結晶性の粉末である。 <u>確認試験</u> 本品 1 g に水 100 mL を加え、加温して溶かした液 20 mL に、塩化ナトリウム試液 0.2 mL を加えるとき、 <u>白い結晶性の沈殿を生じる。</u> なお、 <u>沈殿生成を促すため、ガラス棒で試験管の内壁をこする。</u>	
606	↑5	無色澄明の液である。 <u>純度試験</u> 紫外吸収物質 本品につき、水を対照とし、 <u>紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行うとき、波長 210 nm, 220 nm, 230 nm 及び 240 nm における吸光度はそれぞれ 0.35 以下, 0.15 以下, 0.05 以下及び 0.03 以下である。</u>	無色澄明の液である。
669	2	<u>液体クロマトグラフィー用ペンタエチレンヘキサアミノ化ポリビニルアルコールポリマービーズ</u> <u>ペンタエチレンヘキサアミノ化ポリビニルアルコールポリマービーズ</u> 、液体クロマトグラフィー用 を見よ。	<u>液体クロマトグラフィー用ペンタエチレンヘキサミノ化ポリビニルアルコールポリマービーズ</u> <u>ペンタエチレンヘキサミノ化ポリビニルアルコールポリマービーズ</u> 、液体クロマトグラフィー用 を見よ。
699	↑4	アクリノール <u>水和物</u> 、微末 10 g	アクリノール、微末 10 g
701	1	アクリノール <u>水和物</u> 、微末 10 g	アクリノール、微末 10 g
702	4	アクリノール <u>水和物</u> 、微末 10 g	アクリノール、微末 10 g
851	4	本品は定量するとき、表示量の <u>90.0 ~ 110.0 %</u> に対応する <u>アミトリプチリン塩酸塩</u>	本品は定量するとき、表示量の <u>95.0 ~ 110.0 %</u> に対応する <u>アミトリプチリン塩酸塩</u>

頁	行	正	誤
861	↑ 3	(iii) 円筒カンテン平板の調製 「 <u>1.5. 基層カンテン平板 の調製</u> 」を準用する。	(iii) 円筒カンテン平板の調製 <u>5. 基層カンテン平板の調製</u> を準用する。
870	3	<u>13.87 mg</u> 以下	<u>6.93 mg</u> 以下
1032	16	V_s : 脱水物に換算したイソフルラン標準品の <u>採取量</u> (mL)	V_s : 脱水物に換算したイソフルランの <u>標準品の秤取量</u> (mL)
1349	6	(3 <i>RS</i>)-9-Fluoro-3-methyl-10-(4-methylpiperazin-1-yl)-7-oxo-2,3-dihydro-7 <i>H</i> -pyrido[1,2,3- <i>de</i>][1,4]benzoxazine-6-carboxylic acid	(3 <i>RS</i>)-9-Fluoro-3-methyl-10-(4-methylpiperazin-1-yl)-7-oxo-2,3-dihydro-7 <i>H</i> -pyrido[1,2,3- <i>de</i>]-[1,4]benzoxazine-6-carboxylic acid
1526	3	M_s : クラリスロマイシン標準品の <u>秤取量</u> [mg (力価)]	M_s : クラリスロマイシン標準液の <u>秤取量</u> [(mg) (力価)]
1549	2	Absorptive <u>Cream</u>	Absorptive <u>Ointment</u>
1550	2	Hydrophilic <u>Cream</u>	Hydrophilic <u>Ointment</u>
1551	11	本品はジクロロメタンに溶けにくく、メタノール又はエタノール (99.5) に極めて	本品はジクロロメタンに溶けにくく、メタノール及びエタノール (99.5) に極めて
1890	16	<u>移動相</u> を加えて 200 mL とする	<u>移動層</u> を加えて 200 mL とする
1959	2	<u>160 µg</u> 以下	<u>30 µg</u> 以下
2048	7	(1 <i>S</i> ,2 <i>S</i> ,4 <i>R</i> ,5 <i>R</i> ,7 <i>S</i>)-9-Methyl-3-oxa-9-azatricyclo[3.3.1.0 ^{2,4}]non-7-yl (2 <i>S</i>)-3-hydroxy-2-phenylpropanoate monohydrobromide trihydrate	(1 <i>S</i> ,2 <i>S</i> ,4 <i>R</i> ,5 <i>R</i> ,7 <i>S</i>)-9-Methyl-3-oxa-9-azatricyclo[3.3.1.0 ^{2,4}]non-7-yl (2 <i>S</i>)-3-hydroxy-2-phenylpropanoate monohydrobromide trihydrate
2182	3	(英名の下に、下記の日本名別名を加える) セフィキシム	
2182	10	ただし、本品の力価は、セフィキシム (C ₁₆ H ₁₅ N ₅ O ₇ S ₂ : <u>453.45</u>) としての量を	ただし、本品の力価は、セフィキシム (C ₁₆ H ₁₅ N ₅ O ₇ S ₂) としての量を
2185	↑ 14	システムの性能：システム適合性試験用溶液 10 <u>µL</u> につき、	システムの性能：システム適合性試験用溶液 10 mL につき、

頁	行	正	誤
2187	9	(→ セフィキシム水和物)	(→ セフィキシム)
2336	10	この液 5 mL 及び標準原液 3 mL を正確に量り、水を加えて正確に <u>50</u> mL とする	この液 5 mL 及び標準原液 3 mL を正確に量り、水を加えて正確に <u>5</u> mL とする
2438	↑9	本品 1 個をとり、0.1 mol/L 塩酸試液 3V/5 mL を加えて 60 分間振り混ぜた後、1 mL 中にチアラミド (C ₁₅ H ₁₈ ClN ₃ O ₃ S) 約 1 mg を含む液となるように 0.1 mol/L 塩酸試液を加えて正確に V mL とし、ろ過する。	本品 1 個をとり、 <u>1 mL</u> 中にチアラミド (C ₁₅ H ₁₈ ClN ₃ O ₃ S) 約 1 mg を含む液となるように 0.1 mol/L 塩酸試液 3V/5 mL を加えて 60 分間振り混ぜた後、0.1 mol/L 塩酸試液を加えて正確に V mL とし、ろ過する。
2544	↑2	本品 <u>5 mg</u> に硫酸 1 mL 及び	本品 <u>5 g</u> に硫酸 1 mL 及び
2559	4	(構造式を下記に改める)	
			
2566	↑10	(乾燥減量の前に次の 1 行を加える) (3) 残留溶媒 別に規定する。	
2580	(図中)	A: 沸騰フラスコ (500 mL) B: 分液漏斗 (100 mL) C: 冷却器 D: 試験管 E: コック	A: 沸騰フラスコ (500 mL) B: 分液漏斗 (100 mL) C: 冷却器 D: 試験管
2696	↑7	これにヘキサクロロ白金 (IV) 酸・ヨウ化カリウム試液	これにヘキサクロロ白金 (IV) 酸ヨウ化カリウム試液
2715	8	製法 本品は「トルナフタート」をとり、外用液剤の製法により製する。	製法 本品は「トルナフタート」をとり、液剤の製法により製する。
2718	↑13	溶出性 <6.10> 試験液に pH 7.4 のリン酸塩緩衝液 900 mL を用い、パドル法に	溶出性 <6.10> 試験液に pH 7.4 のリン酸塩緩衝液 900 mL を用い、パドル法に

頁	行	正	誤
2769	↑ 1	<u>[適用]</u> 鼻炎, 副鼻腔炎, 上呼吸気道炎に対して, <u>点鼻</u> 又は噴霧する.	<u>[適用]</u> 鼻炎, 副鼻腔炎, 上呼吸気道炎に対して, <u>点滴静注</u> 又は噴霧する.
2892	7	M_s : <u>脱水物に換算した</u> バクロフェン標準品の秤取量 (mg)	M_s : バクロフェン標準品の秤取量 (mg)
2922	6	(パラオキシ安息香酸メチルの <u>[99-76-3]</u>)	CAS No.) <u>[98-76-3]</u>
2975	16	陽性対照	陽性対象
3135	10	本品の秤取量 (g)	本品の秤取量 (mg)
3156	↑ 15	本品は定量するとき, 換算した脱水物に対し, フェキソフェナジン塩酸塩 ($C_{32}H_{39}NO_4 \cdot HCl$) 98.0 ~ 102.0 % を含む.	本品は定量するとき, 換算した脱水物に対し, フェキソフェナジン塩酸塩 ($C_{32}H_{39}NO_4$) 98.0 ~ 102.0 % を含む.
3213	12	(乾燥減量の前に次の 1 行を加える) (3) 残留溶媒 別に規定する.	
3356	18	(乾燥減量の前に次の 1 行を加える) (5) 残留溶媒 別に規定する.	
3491	↑ 8	溶出性 <6.10> 試験液に pH 7.2 の <u>リン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液 900</u>	溶出性 <6.10> 試験液に pH 7.2 の <u>リン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液 900</u>
3553	18	a : 本品の <u>採取量</u> (mL)	a : 本品の <u>秤取量</u> (mL)
3581	6	2-[4-[3-(2- <u>Chloro-10H-phenothiazin-10-yl</u>)propyl]piperazin-1-yl]ethanol dimaleate	2-[4-[3-(2- <u>Chlorophenothiazin-10-yl</u>)propyl]piperazin-1-yl]ethanol dimaleate
3687	↑ 2	本品は水又はピリジンに溶けやすく, メタノール, エタノール (95), 石油ベンジン又はマクロゴール 400 にほとんど溶けない.	本品は水又はピリジンに溶けやすく, メタノール, エタノール (95), <u>無水ジエチルエーテル</u> , 石油ベンジン又はマクロゴール 400 にほとんど溶けない.
3779	↑ 14	本品及びメチルジゴキシン標準品 (<u>別途本品と同様の方法で水分 <2.48> を測定しておく</u>) 約 0.1 g	本品及びメチルジゴキシン標準品約 0.1 g

頁	行	正	誤
3780	↑9	Methylcellulose [9004-67-5]	Methylcellulose <u>Cellulose, methyl ether</u> [9004-67-5]
3785	↑4	システムの性能：標準溶液 10 μLにつき、上記の条件で操作するとき、 <u>内標準物質</u> 、メチルテストステロンの順に溶出し、その分離度は 9 以上である。 システムの再現性：標準溶液 10 μLにつき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、 <u>内標準物質</u> のピーク面積に対するメチルテストステロンのピーク面積の比の相対標準偏差は 1.0 % 以下である。	システムの性能：標準溶液 10 μLにつき、上記の条件で操作するとき、 <u>内標準溶液</u> 、メチルテストステロンの順に溶出し、その分離度は 9 以上である。 システムの再現性：標準溶液 10 μLにつき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、 <u>内標準溶液</u> のピーク面積に対するメチルテストステロンのピーク面積の比の相対標準偏差は 1.0 % 以下である。
3788	↑7	システムの再現性：標準溶液 10 μLにつき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、 <u>内標準物質</u> のピーク面積に対するメチルテストステロンのピーク面積の比の相対標準偏差は 1.0 % 以下である。	システムの再現性：標準溶液 10 μLにつき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、 <u>内標準溶液</u> のピーク面積に対するメチルテストステロンのピーク面積の比の相対標準偏差は 1.0 % 以下である。
3883	↑1	⊕：製剤は劇薬である。 ⊖ ⊕	⊕ ⊖ ⊕
3907	↑11	本品及び葉酸標準品（ <u>別途本品と同様の方法で水分〈2.48〉を測定しておく</u> ）約 50 mg ずつを精密に量り、	本品及び葉酸標準品約 50 mg ずつを精密に量り、
3998	5	（構造式を次のように改める） KVFGRCLEAA AMKRHGLDNY RGYSLGNWVC AAKFESNFNT QATNRNTDGS TDYGILQINS RWWCNDGRTP GSRNLCNIPC SALLSSDITA SVNCAKKIIVS DGNGMNAWVA WRNRCKGTDV QAWIRGCRL	・ xHCl

頁	行	正	誤
4057	↑14	(純度試験の前に次の1行を加える) <u>pH <2.54> 本品 1.0 g を水 50 mL に溶かした液の pH は 9.0 ~ 9.4 である.</u>	
4196	10	システムの性能：ベルベリン塩 化物標準品及び <u>パルマチン塩</u> 化物 1 mg ずつを移動相に 溶かして 10 mL とする。 この液 10 μ L につき、上記 の条件で操作するとき、パル マチン、ベルベリンの順に溶 出し、その分離度は 1.5 以上 である。	システムの性能：ベルベリン塩 化物標準品及び <u>塩化パルマチ</u> <u>ン</u> 1 mg ずつを移動相に溶か して 10 mL とする。この液 10 μ L につき、上記の条件で 操作するとき、パルマチン、 ベルベリンの順に溶出し、 その分離度は1.5以上である。
4222	6	キカラスウリ <i>Trichosanthes ki- rilowii</i> Maximowicz var. <u>japo- nica</u> Kitamura	キカラスウリ <i>Trichosanthes ki- rilowii</i> Maximowicz var. <u>japo- nicum</u> Kitamura
4275	↑9	これに紫外線（主波長 365 nm）を照射するとき、 R_f 値 0.4 付近に青紫色の蛍光を発す るスポットを認める。	これに紫外線（主波長 365 nm）を照射するとき、 R_f 値 0.3 付近に青紫色の蛍光を発す るスポットを認める。
4303	↑4	この液 5 mL を <u>正確に量り</u> 、	この液 5 mL を <u>とり</u> 、
4311	↑10	この液 5 mL を <u>正確に量り</u> 、	この液 5 mL を <u>とり</u> 、
4355	↑11	次に薄めたメタノール（3 → 10）を流して <u>調製したもの</u> に入れて流出させる。	次に薄めたメタノール（3 → 10）を流して <u>調整したもの</u> に入れて流出させる。
4416	7	システムの性能：センノシド A 標準品及び薄層クロマト グラフィ用ナリンギン 1 mg ずつを炭酸水素ナトリウ ム溶液（1 → 1000）に溶か して 10 mL とする。	システムの性能：センノシド A 標準品及び薄層クロマト グラフィ用ナリンギン <u>二水</u> <u>和物</u> 1 mg ずつを炭酸水素ナ トリウム溶液（1 → 1000） に溶かして 10 mL とする。

頁	行	正	誤
4418	↑5	システムの性能：センノシド A 標準品及び薄層クロマトグラフィー用ナリンギン 1 mg ずつを炭酸水素ナトリウム溶液 (1 → 1000) に溶かして 10 mL とする。	システムの性能：センノシド A 標準品及び薄層クロマトグラフィー用ナリンギン <u>二水和物</u> 1 mg ずつを炭酸水素ナトリウム溶液 (1 → 1000) に溶かして 10 mL とする。
4443	13	この液 10 mL を <u>正確に量り</u> ,	この液 10 mL を <u>とり</u> ,
4447	↑16	システムの性能：定量用ヘスペリジン及び薄層クロマトグラフィー用ナリンギン 1 mg ずつをメタノール 10 mL に溶かし、水を加えて 20 mL とする。	システムの性能：定量用ヘスペリジン及び薄層クロマトグラフィー用ナリンギン <u>二水和物</u> 1 mg ずつをメタノール 10 mL に溶かし、水を加えて 20 mL とする。
4465	13	別に薄層クロマトグラフィー用ナリンギン 10 mg をエタノール (95) 10 mL に溶かし、	別に薄層クロマトグラフィー用ナリンギン <u>二水和物</u> 10 mg をエタノール (95) 10 mL に溶かし、
4466	↑11	別に薄層クロマトグラフィー用ナリンギン 10 mg をエタノール (95) 10 mL に溶かし	別に薄層クロマトグラフィー用ナリンギン <u>二水和物</u> 10 mg をエタノール (95) 10 mL に溶かし
4973	↑16	また、近赤外光は、可視光に比較して長波長であることから、光は粉体を含む <u>固体試料中、数 mm</u> の深さまで侵入することができる。	また、近赤外光は、可視光に比較して長波長であることから、光は粉体を含む深さまで侵入することができる。
4978	↑10	1200 ～ <u>2200 nm</u> の波長範囲につき、	1200 ～ <u>2400 nm</u> の波長範囲につき、
5102	↑18	dNTP 溶液 (各 1.25 <u>mmol/L</u>)	dNTP 溶液 (各 1.25 <u>mol</u>)
5102	↑5	塩化カリウム 500 mmol/L ゼラチン 0.1 g/L	塩化カリウム 500 mmol/L <u>塩化マグネシウム</u> 20 mmol/L ゼラチン 0.1 g/L
5174	表中↑20	キカラスウリ <i>Trichosanthes ki-</i>	キカラスウリ <i>Trichosanthes ki-</i>

頁	行	正	誤
		<i>rilowii</i> Maximowicz var. <u>japonica</u> Kitamura = <i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <u>japonica</u> (Miq.) Kitam.	<i>rilowii</i> Maximowicz var. <u>japonicum</u> Kitamura = <i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <u>japonicum</u> (Miq.) Kitam.
5200	↑4	表 3 に記載されている温度の間にある場合は、測定された温度よりも低い方の温度	表 3 に記載されている温度の間にある場合は、測定された温度の直ぐ下の温度
5201	↑18	(i) 下記の方法により、容器に採水後、強くかき混ぜることによって、大気中から	(i) 下記の方法により、容器に採水後、かき混ぜることによって、大気中から
5201	↑14	し、強くかき混ぜながら、一定時間ごとにこの液の導電率の測定を行う。	し、かき混ぜながら、一定時間ごとにこの液の導電率の測定を行う。
5284	5 (左段)	(下記の項目を追加する) カプセル、ウベニメクス 1123	
5284	↑13 (中段)	カモスタットメシル酸塩 1393	ガモスタットメシル酸塩 1393
5311	19 (左段)	*消毒用エタノール 488	*消毒エタノール 488
5317	↑14 (中段)	*セクレチン用ウシ血清アルブミン試液 502	*セクレチン用ウシ血清アルブミン試液 502
5318	↑14 (中段)	(下記の項目を追加する) セフィキシム 2182	
5325	10 (中段)	(下記の項目を追加する) 注射液、アミノフィリン 858	
5333	14 (右段)	*デモカプリル塩酸塩、定量用 532	*デモカプリル塩酸塩、定量用 532
5340	2 (左段)	(下記の項目を追加する) 軟膏、アクリノール・亜鉛華 699	
5342	4 (左段)	*二硫酸カリウム 550	*二硫化カリウム 550
5363	19 (左段)	(下記の項目を削除する) *ヘキサヒドロキソアンチモン (V) 酸カリウム四水和物 603	
5365	2 (左段)	*ペルオキシダーゼ標識ブラジ	*ペルオキシダーゼ標準ブラジ

頁	行	正	誤
		キニン試液 609	キニン試液 609
5376	13 (右段)	*溶出試験第 1 液 643	*溶出試液第 1 液 643
5376	14 (右段)	*溶出試験第 2 液 643	*溶出試液第 2 液 643
5387	4 (左段)	Absorptive Cream 1549	Absorptive Ointment 1549
5390	16 (右段)	Butenafine Hydrochloride Spray 3217	Butenafine Hydrochloride Spray 327
5391	3 (右段)	(下記の項目を追加する) Capsules, Ubenimex 1123	
5392	6 (右段)	(下記の項目を追加する) Cellulose, Methyl ether 3780	
5394	↑20 (左 段)	(下記の項目を追加する) Cream, Absorptive 1549	
5394	↑17 (左 段)	(下記の項目を追加する) Cream, Hydrophilic 1550	
5396	↑19 (右 段)	(下記の項目を追加する) Enteric-Coated Tablets, Buformin Hydrochloride 3242	
5398	4 (右段)	Flecainide Acetate Tablets 3357	Flecainide Acetate Tablet 3357
5400	↑3 (右 段)	Hydrophilic Cream 1550	Hydrophilic Ointment 1550
5402	1 (左段)	(下記の項目を追加する) Injection, Compound Oxycodone 1318	
5402	14 (左段)	(下記の項目を追加する) Injection, Edrophonium Chloride 1219	
5402	↑1 (左 段)	Injection, Iodinated (¹³¹ I) Human Serum Albumin 3905	Injection, Iodinated Human Se- rum Albumin 3905
5403	23 (左段)	Injection, Sodium Iodohippura- te (¹³¹ I) 3905	Injection, Sodium Iodohippura- te 3905
5403	14 (右段)	Iodinated (¹³¹ I) Human Se- rum Albumin Injection 3905	Iodinated Human Serum Albu- min Injection 3905
5406	↑8 (左 段)	Methylcellulose 3780	Methylcellulose Cellulose, meth- yl ether 3780

頁	行	正	誤
5408	24 (右段)	(下記の項目を追加する) Orally Disintegrating Tablets, Ebastine 1236	
5409	6 (左段)	(下記の項目を追加する) Oxycodone Injection, Compound 1318	
5410	↑15 (右段)	(下記の項目を追加する) Powder, Ascorbic Acid 725	
5411	↑3 (右段)	(下記の項目を追加する) Powder, 10 % Phenobarbital 3179	
5412	19 (左段)	(下記の項目を追加する) Powder, Zinc Oxide Starch 687	
5415	24 (右段)	Sodium Iodide (<u>¹²³I</u>) Capsules 3903	Sodium Iodide Capsules 3903
5415	25 (右段)	Sodium Iodide (<u>¹³¹I</u>) Capsules 3904	Sodium Iodide Capsules 3904
5415	26 (右段)	Sodium Iodide (<u>¹³¹I</u>) Solution 3904	Sodium Iodide Solution 3904
5415	27 (右段)	Sodium Iodohippurate (<u>¹³¹I</u>) Injection 3905	Sodium Iodohippurate Injection 3905
5416	↑13 (左段)	Solution, Sodium Iodide (<u>¹³¹I</u>) 3904	Solution, Sodium Iodide 3904
5417	16 (右段)	(下記の項目を追加する) Tablets, Alacepril 892	
5418	↑10 (左段)	(下記の項目を追加する) Tablets, Ebastine 1233	
5420	↑19 (右段)	(下記の項目を追加する) Tincture, Bitter 4249	

(日本薬局方解説書編集委員会)